



平成21年4月23日

日野市長

馬場弘融様

倉沢里山を愛する会

会長 峰岸純夫、他会員一同

(地権者) ○○○○

日野市百草○○○

(連絡先)

倉沢里山を愛する会事務局長 田村裕介

日野市百草 698-6

TEL (042)592-5859

Email: info@alice-fm.info

百草・倉沢地区における緑地信託認定に関する要望書

貴職には日野市の自然環境保護施策について、日頃から積極的かつ市民の立場に立った行政を推進して頂き、また私たちの活動についても一方ならぬご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

近年、当地区の農家で発生した3件の新たな相続に際しても、多くの困難を乗り越えて重要な緑地の保全を実現された日野市当局の積極的な姿勢とその実績は、市民として非常に高く評価し、感謝しているところです。さらに、平成17年に発生した相続において寄付と物納の組み合わせで保全に合意し現在財務省が所有する「新堂谷戸」の日野市による買い受け問題についても、きわめて厳しい財政状況の下、前向きに保全の方策を検討して頂いており、これについても大きな期待を抱いているところです。

さて、ご承知の通り、百草・倉沢地区においては、平成16年に日野市と倉沢里山を愛する会（以下「本会」）の間で「里山保全に関するパートナーシップ協定」を締結し、相続に伴って市有化された緑地を、日野市当局のご支援・ご協力をいただきながら着実に良好な状態に維持・管理を実施してきており、各方面から高い評価を頂いております。また近年続けて発生した複数の相続に際して市有化された緑地が、新たに本会の管理範囲に加えられ、本会の役割はさらに大きなものとなっております。

こうした状況のなか、倉沢里山のほぼ中心に位置する、通称「アリスの丘ファーム」の隣地にあった建設会社の資材置き場兼作業場（日野市百草725-3、面積約1,150㎡）が退去しました。この資材置き場は、約20年前に設置されたものですが、それ自体不法なものであり、また、近隣住民に対しては騒音、振動、大型トラックの出入り等の迷惑を長年にわたって及ぼしてきましたし、また景観的にも里山保全地区には全くふさわしくないものであります。

この20年の間、関係者と近隣住民の間にはさまざまな経緯がありましたが、今般地権者と本会との間で協議した結果、この跡地を緑地として復元することで合意に至りました。

しかしながら、地権者が、かつてこうした業者に土地を貸した理由は、ひとえに雑種地として課せられる高額な固定資産税等にあったもので、その課題自体は現時点においても全く解消されてはおりません。本会としても様々な方策を検討し、地権者の意向を尊重しながら、20年間コンクリートで覆われてきた土地を、緑地として復元するための最善の手段を模索して参りました。

その結果、この土地を、日野市の信託緑地としての認定を受け（「日野市緑地信託等に関する条例」）、樹林地として復元するのが最善の方策であるという結論に至りました。

これが実現されれば、

- (1) 倉沢里山に最もふさわしい樹林地として復元できること（緑被率、保水力の向上等）
- (2) 固定資産税等が減免されることにより地権者の負担がなくなり、緑地保全に対する動機づけにもつながること
- (3) 将来的に相続等が発生した場合にも、緑地として市有化される道が確保されること
- (4) 当該緑地の維持管理については、パートナーシップ協定の延長線上で、本会が倉沢里山の緑地の一連として実施できること
- (5) 近隣住民にとって最も望ましい形であり、さらに日野市全体として見ても、「積極的に自然の回復」（「日野市緑化及び清流化推進に関する条例」第1条）を図った、みどり政策の大きな成功事例として位置づけられること

上記のほかにも、直接隣接する「アリスの丘ファーム」（本会が里山の重要な一要素として運営・管理する市民農園）との間での自然循環がさらに充実する等々、最善の成果を得られる一方、問題となる事項はほとんどないと考えております。

本会としては、この要望を実現して頂ければ、ただちに周辺の雑木林に見られる樹種を適宜植樹し、良好な樹林地に育成し、倉沢里山全体をより豊かな里山として維持・管理していくことをお約束いたします。

このような事例は、全国的に見てもおそらくきわめて稀な事例であると思われませんが、だからこそ、きわめて大きな意義を持つものとなると確信しております。

上記を踏まえ、本会並びに地権者の連名にて、以下について要望するものです。

何卒よろしくお取り計らいいただきたく、衷心よりお願い申し上げます。

＝ 要 望 事 項 ＝

日野市は、百草・倉沢地区における建設資材置き場兼作業場跡地（百草725-3）について、樹林地として信託緑地に指定し、倉沢里山、ひいては日野市全体のみどりの保全・拡大を図っていただきたい。

以 上